

## Facebook フェイスブックページ開設のお知らせ



アイコンには  
ロゴマークが  
入る予定です  
(別紙参照)

岡崎百景  
地域団体

タイムライン 基本データ 写真 いいね! 動画 タブを管理

お待たせしました!

「岡崎百景フェイスブックページ」を遂に開設します!  
(※百景大撮影会とは異なりますので、ご注意ください。)

推薦人同士及び事務局との情報共有を図るとともに、「岡崎百景」の活動を外部へと発信していく、岡崎百景ファンを増やしていきます!

「岡崎百景」で検索するか、右のQRコードを読み取りアクセス⇒

※詳細に掲載してあります運用ポリシーを必読の上、ご利用ください。

開設日  
7/27(月)



## Information 次回予告：第二回推薦人会議について

平成27年9月5日(土) 13:30-16:00 (終了予定)

岡崎市福祉会館(岡崎市朝日町三丁目2)6Fホール

百景候補の写真(暫定版)および推薦文(案)をお持ちいただき、推薦人同士による意見交換を行います。

なお当日10~12時まで、同会場で相談窓口を開設しますので、会議に参加出来ない方も、ぜひご利用ください。

会議が近づいて参りましたら、別途案内文を送付します。

## 岡崎百景通信 Vol.3

発行:岡崎市都市整備部都市計画課(岡崎市十王町二丁目9番地)

TEL:23-6263 FAX:23-6514 E-mail:toshikei@city.okazaki.lg.jp

発行日:平成27年7月24日

編集:特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

TEL:23-2888 FAX:23-2898 E-mail:info@okazaki-lita.com

岡崎市制施行100周年記念事業岡崎百景選定事業推薦人コンゴスレタ

# 岡崎百景通信

おかざきの未来に伝える100の物語

Vol.3  
平成27年7月

第一回

# 推薦人会議



## Contents

- 2 現在の岡崎百景候補の  
抜粋紹介と講評
- 5 推薦人会議レポート
- 6 質疑応答
- 7 四季折々の推薦候補  
を見に行こう
- 8 Facebook告知  
+次回案内

## 第1回岡崎百景推薦人会議

「岡崎百景」選定事業は、平成28年に市制施行100周年を迎える岡崎市の記念事業の一つです。昨年度は「岡崎百景」の候補を検討する約100名の「推薦人」を募り、2回の研修会、1回の交流会を実施しました。

去る6月14日(日)には、今年度の第一歩となる「第1回 岡崎百景推薦人会議」を開催し、現時点での推薦候補の紹介と意見交換を行いました。

当日は46名の推薦人の皆様にご参加いただき、福祉会館6Fホールにて各々が現在考えている百景候補を発表していただきました。互いに現在の推薦候補の発表を聞き、自らの推薦候補と比較することで、写真の撮り方やタイトルの表現方法、推薦文の書き方など、様々な気づきが得られたようです。

次ページからは、会議当日に発表された暫定の推薦候補の中から6つの推薦候補を抜粋してご紹介していきます。



## Pick up 百景候補抜粋講評

推薦人会議内で発表いただいた百景候補の中から6点を抜粋して紹介、講評します。  
各候補の魅力的だと思う点や、もっと良くなると思う点をご自身の候補にも置き換えて考えてみましょう。

### ➤ 002 時空を超える感動の木漏れ日…浄瑠璃姫の坂

義経と浄瑠璃姫の伝説をご存知ですか？  
岡崎公園ファンなら、はずせない名所の一つがココ！ほんの数10mの短い坂道ですが、とても不思議な気分を味わえます。  
北は国道1号線の喧騒、南は光あふれる公園のグラウンド。両側を石垣に囲まれた空間の中で木漏れ日を浴びていると、時間や空間の隔たりを超越することも可能です。  
広い岡崎公園の中に皆さんのお気に入りの奥深い魅力ある場所がもっと増えていきますように…。



#### 事務局コメント

「時空を超える感動の木漏れ日」というタイトルを聞くだけで、その景観がいったいどこにあるのか、いつ行けば体験できるのかとても気になりました。本文の冒頭が疑問文で読者に尋ねている点も効果的だと思います。  
読み手のことをしっかりと考えてつくられているタイトル・文章だと感じました。

### ➤ 006 これからもよろしく！岡崎と歴史を刻む殿橋

新緑の映えるよく晴れた季節、多くの人々でにぎわったさくらまつりも終わり、これから今年もやってくる岡崎最大のイベント、花火大会の前のおだやかな時期、乙川の輝く水面の先には岡崎城、その手前には今日も多くの人々が行きかう殿橋。古くから岡崎とともに岡崎にかかわる多くの人々の心に刻まれ続けている。お疲れさま！そしてこれからもよろしく！時代は変わっても昔も今もずっと現役！私たちの心に刻まれる風景だ。



#### 事務局コメント

タイトルの「これからもよろしく！」という推薦人から景観に対するメッセージに強く惹きつけられました。  
本文にも季節感が表れており、殿橋だけではなく周辺全体を含めて魅力的に伝えることができていると思います。  
唯一、写真の空に曇が多い点が悔やまれました。

## Pick up 百景候補ベストシーズン情報

これまでに挙げられた百景候補のオススメの季節・時間帯をピックアップしてご紹介します。  
四季折々にいろいろな表情を見せる百景候補を訪れてみませんか？  
推薦候補ツアーなど、推薦人同士で行うイベントを企画する際にもご活用ください。

季節	時期	候補名	所在地	
夏	<8月1日>	岡崎観光花火大会	(康生町)	
	<8月1日>	奉納花火 (岡崎観光夏まつり花火大会共催)	(康生町)	
	<8月1日> <夏の終わりを告げる午後、夕日に変わる少し前>	菅生神社大祭 (鉾船神事) 美合の小径 (ひっそりとした佇まい)	(康生町) (美合町)	
秋	<9月20日頃から>	葵大橋から見た矢作川越しの岡崎 (夏の風にそよぐ稲穂)	(細川町)	
	<10月2日>	なのはな遊歩道 (秋のコスモス)	(赤沢町)	
	<10月25日10時~12時>	亀美丘会館裏乙川堤防 (秋の彼岸花)	(東明大寺町と大西町)	
	<11月7日、8日>	山車と旧東海道 なのはな遊歩道 (ふれあいウォーク祭り)	(矢作町) (赤沢町)	
	<11月の第一土、日曜日>	岡崎ジャズストリート	(康生界隈)	
	<11月19日>	上地八幡宮 (上地八幡宮大祭)	(上地町)	
	<11月下旬>	なのはな遊歩道 (なのはな種まき)	(赤沢町)	
	<11月下旬>	真福寺 (秋の紅葉)	(真福寺町)	
	<11月末~12月初旬>	美合町川田の紅葉風景	(美合町川田)	
	<11月下旬~12月初旬>	商工会議所通り (ケヤキ並木の紅葉)	(亀美台、亀美東)	
	<12月26日>	二十七日曲りから見た景観 竹千代祭り	(伝馬通り) (康生町)	
	冬	<12月26日>	山車と旧東海道 恵田町落ち葉スキー場	(矢作町) (恵田町)
<12月26日>		稲前神社で行われている神事	(稲穂町)	
<12月26日>		長瀬八幡宮 (鎮守の森) (秋の紅葉)	(森越町)	
<12月26日>		夏山小学校校舎 (秋の紅葉)	(夏山町)	
<12月26日>		仏日山永泉寺 (秋の紅葉)	(能見町)	
<12月26日>		龍城橋から見た岡崎城、岡崎公園 (秋の紅葉)	(康生町)	
<12月26日>		なのはな遊歩道 (冬の水仙)	(赤沢町)	
<2月21日(土)>		滝山寺 (東照宮) と滝仁王門 滝山寺鬼まつり	(滝町)	
<2月末から>		亀美丘会館裏乙川堤防 (春の菜の花)	(東明大寺町と大西町)	
<3月下旬(日)>		松應寺横丁にぎわい市	(松本町)	
春		<4月10日頃>	岡崎公園の桜	(康生町)
		<4月~5月>	東公園の象、ふじ子誕生日会	(欠町)
	<4月中旬>	北山湿地と里山風景 (飛び交うギフチョウ・草花)	(池金町)	
	<5月第二日曜日>	上地八幡宮うこん桜	(上地町)	
	<5月>朝早い時間	能見神明宮大祭	(能見町)	
	<5月>	伊賀八幡宮周辺の5月の桜 夏山小学校校舎 (春の桜)	(伊賀町) (夏山町)	
<春から夏>	なのはな遊歩道 (春の菜の花、鯉のぼり)	(赤沢町)		
<春から夏>	旧額田地区 (自然な風景)	(乙川溪流から櫻山地区)		
<春から夏>	土呂八幡宮 (小鳥のさえずり等)	(禰岡町)		
<春から夏>	なのはな遊歩道 (夏のひまわり)	(赤沢町)		

#### その他・通年等

- ・二七市 (亀井町) …2と7のつく土日の朝、12月31日の朝市
- ・南公園の蒸気機関車…毎月第2日曜の9時~11時、管理清掃に合わせ公開中。秋の南公園祭りでも説明会 (日時未定) を開催。
- ・瀧見橋より下流の伊賀川河畔…特に春、秋「八幡さんから岡崎公園」のハイキングコース (JRや名鉄開催) となっている。

推薦人会議での質疑応答内容をふくめ、これまでによせられた質問への回答をご紹介します。

- Q1** 岡崎百景の推薦候補が「岡崎観光きらり百選」と重複しても問題ないですか？  
→問題はありません。市内の代表的な観光資源を集めた「岡崎観光きらり百選」に対して、「岡崎百景」では市民一人ひとりが残したいと思う景観を市民全体に伝え、共感を広げていき、残し、活かすための活動につなげることに重きを置いています。
- Q2** 撮影の許可を頂く事について、メールでは失礼ですか？ 電話で約束してから直接出向いた方が良いですか？  
→メールでは迷惑メール扱い等で見てもらえない可能性もあるので、まずはお電話してみることをおすすめします。
- Q3** 推薦人番号が百景通信Vol.1とVol.2で推薦人番号が変わっていたが、どれが正しいのですか？  
→正しい推薦人番号の確認は岡崎百景通信Vol.1のP.7-9に掲載してある一覧をご参照ください。
- Q4** 近代史を重要視するのか？歴史ときらり百選とするのか個人的な主観で百景を決めて良いのか悪いのか？変わりゆく景観にどう対応していくのですか？  
→岡崎百景では「今ある景色、場面」を対象としています。変わりゆく景観、特に過去に対しては、現在その過去の姿を偲ばせる痕跡が残っていればOKです。個人の愛着や想いから、高い共感の得られたものを百景として選定していきます。
- Q5** 他の人と重複する景観はどのように絞り込みますか？100の景観を選ぶため、同じテーマ、似たエリアを推薦した複数人は事前に調整が必要では？その絞り込み方法を皆で検討してみてもどうですか？  
→次回第二回推薦人会議の中で、推薦候補の重複者同士で話し合う場を設けたいと思います。
- Q6** 百景通信Vol.1の分布図に黒字と赤字があるが、赤字でかかかれている景観は何ですか？  
→黒字は推薦人募集時に挙げられた百景候補、赤字はキックオフフォーラムのアンケートによって推薦人から挙げられた追加を検討されている候補です。
- Q7** 提出する写真の種類に決まりはありますか？  
→最終的な写真は「原則」一枚です。縦横の構図は問いません。撮影機材は問いませんが、デジタルカメラでの撮影を推奨します。一辺1,600ピクセル(画素数3Mb)以上、なるべくデータでの提出をお願いします。上記内容を含め、提出したくものの詳細は「推薦人手帳」2ページに記載しております。
- Q8** 写真データが無い人はどうすべきですか？  
→プリントしたもので、フィルムでも提出可能です。但し、日付は表示されていないものを推奨します。
- Q9** 写真1枚では表現できないのですが、どうすべきですか？  
→原則として、一番魅力的に見える時期や時間、見る角度などを検討していただいた上でのベストな一枚を提出していただきたいと考えていますが、複数の推薦人の方から同様の意見をいただいているため、事務局で検討し、次回の推薦人会議でお伝えしたいと思います。
- Q10** 選定に関して、子ども枠の対象は何歳から何歳なのか？  
対象年齢によっては推薦文の言葉がわかりにくいので変更する必要があるのではないかと。思う。  
→選定にあたり子ども投票枠を設けて子どもの視点を取り入れたいが、まだ確定ではありません。実施の際には小学生高学年以上を対象にするなどの配慮したいと思います。
- Q11** 推薦人会議は原則出席と聞いているが、今日は全員いない。  
このままでは1人1枚出しても全部選ばれてしまう気がするが、100枚に足りなければ70景で済みますか、または今でも推薦人を募集しているのか、その辺りが曖昧だという感じがしますがどうですか？  
→どうしても時間の都合上、会議に参加できない方もみえますが、推薦人会議前に相談窓口を設けるなどの対応を図っています。現在、追加の推薦人募集は行っていませんが、次回9月の推薦人会議の際に、被りや漏れがないかを話し合い、最終的には「岡崎百景」ですので、100の景観を選びたいと考えています。
- Q12** もし百景に選ばれたとすると、その場所に立て札を立てて貰えますか？  
どちらかといえば自然の風景ですので、立て札がないと見過ごしてしまいます。  
→百景に選ばれた際の周知やPR方法については、ご提案の方法を含め、パンフレットの作成や市HPでの紹介など色々考えられますが、それらについても今後の推薦人会議などで検討していきたいと考えています。

## ➤ 013 蒸気機関車のある風景－南公園D51688号

南公園交通広場には、僕デゴイチが待っているよ。40年以上も前から公園の入口にどっしりといて子ども達と遊んでいます。機関士席に座って嬉しそうに運転するのを見るのは楽しいですよ。大きな動輪と背比べをして写真を撮り続けてだんだん車輪が小さくなっていくのはほほえましい。毎月掃除をして磨いてくれる市民の友達にお願いして、この子ども達とその孫達に、車輪と背比べができるように長生きをしてほしいです。



### 事務局コメント

蒸気機関車が語りかける推薦文はとてもユニークな発想ですね、実際に会いに行ってみたくと思わされます。推薦文の語り口調をタイトルにも反映させてみてはどうでしょうか？写真に市民による掃除の様子が写っていて、蒸気機関車と推薦人の関係性がよく表れていると思います。車輪と背比べをする子どもの姿があってもよいかもしれません。

## ➤ 063 岡崎を見守り1900年－岡崎最古の菅生神社

岡崎最古の「菅生神社」を推薦します。ある日、お城の東隅櫓を監修された三浦教授から興味深いお話を伺い、岡崎の埋もれたお宝を大切に思う願いからです。三浦教授によると菅生神社本殿東のお社、岡崎城内で一番古い建物で慶安頃当時の形がそのままに残っていて岡崎の文化財になる価値があるとの事。歴史文化は私達にとって大きな財産です。埋もれた歴史文化を掘り起こし、岡崎のこれからの観光発展になるように市役所・市民の皆さんで進めて行くことを望みます。



### 事務局コメント

かがんで見上げるように撮影したことで建物の迫力がよく表れています。参拝している人の姿を同時に撮影すると、もっと訪れてみたくなるよう喚起できる写真になると思いました。また、推薦文が少し説明的な印象を受けました。三浦教授のお話を聴いた上で推薦人本人が思う菅生神社の素晴らしさを表現してみてくださいいかがでしょうか。

## ➤ 071 二つでコラボ赤煉瓦の建物と二十七曲り

初めて観光バスの車窓から目にした旧岡崎銀行本店のルネッサンス様式の建造物に驚いた。欧州の古い建物や街並みに匹敵する佇まいです。東京駅丸ノ内駅舎をも彷彿とさせます。南側を面して走る通りは、東海道「岡崎城下二十七曲り」です。岡崎の城下町・宿場町を行き交う旅人や商人で大変に賑わいました。岡崎藩の御馳走屋敷や籠田総門がありました。

朝日に照らし出される頃は住時が脳裏に浮んできます。百年先にも残したい景観です。



### 事務局コメント

撮影日時が写真右下に入っていますが、最終提出の際は撮影日時の入っていないものを推奨しています。  
また、空の光が強い為か白くとんでしまっているため、撮影時の光の加減にも注意してみてください。  
二十七曲りを写真で表現するのは難しいかと思いますが、通行人が写っている写真も見てみたいと思いました。

## ➤ 102 藤川に咲き誇るむらさき麦

藤川の特産物であるむらさき麦。5月頃には麦が咲き誇り、色鮮やかな景観を楽しむことができる。国道1号線沿いの田んぼだけでなく、東西棒鼻の近くや藤川小学校、資料館の裏などでの栽培もさかんて、「藤川と言えばむらさき麦」を印象づけている。むらさき麦のみまきや麦ふみを体験した藤川小の子供たちが大人になり、麦栽培を受け継いだり、麦の関連商品を開発したりしながら、地域貢献をしていく姿が楽しみである。



### 事務局コメント

むらさき麦が陽に照らされて輝き、とても綺麗な写真です。ただ、少し被写体に寄りすぎた印象を受けました。最終的にはトリミング(切り抜き)も可能ですので、もう少し引いた視点で周囲の様子やどのようなものなのか取り込んだ写真も見てみたいと思いました。

## Report 振り返り、第二回推薦人会議に向けて

出席いただいた推薦人の方々には、1名につき約1分という限られた時間の中で、現在考えている推薦候補1点をスクリーンに投影された写真と合わせて、タイトル・推薦文を読み上げるかたちで全体に向けて発表していただきました。それぞれの個性豊かな発表には推薦人同士も刺激を受けたはずで

す。推薦候補を互いに共有し、発表者一人ひとりに事務局からも講評をお伝えしたことで、今後より磨かれていくそれぞれの百景候補が楽しみとなりました。

なお、当日は時間の都合により1名につき1つの推薦候補を発表いただきましたが、一人あたりの推薦候補数に制限はありませんので無理に1つに絞り込んでいただく必要はありません。**1名につき複数箇所の推薦も可能です。**

第一回の成果を踏まえ、9月に開催予定の第2回岡崎百景推薦人会議では、推薦人同士が話し合う時間を多くとりたいと思います。意見交換を行うことによって情報共有や疑問の解消につなげていき、全体の完成度を高めていきたいと思っています。



## Pick up アンケート結果 (抜粋紹介)

推薦人会議でご記入いただいたアンケート結果の中から、「他の推薦人の発表を聞いて、ためになったことは何ですか?」という質問に対する回答を抜粋してご紹介します。他の推薦人の発表を聞くことで得た気づきを自身の推薦候補にも活かしていきましょう

- 「写真の絞り込み(1枚だけ)の難しさ、他人が感動する推薦文作り」
- 「身近に感じる表現内容」
- 「子どもを入れる等、写真の撮り方について参考になりました」
- 「何を主眼にして説明があるかがとても大事だという点」
- 「語りかける文の良さ」
- 「タイトル、推薦文の書き方、いかに短い字数で上手に表現するか」
- 「わかりやすい推薦文がいい」
- 「タイトル・写真・文の3つが重なると、印象が残りおもしろくなる」
- 「推薦文をもう一工夫しないといけなと感じた」
- 「タイトルと写真が一致していると人に伝わりやすい」